



ゆらがわ

舞鶴市立由良川小学校

学校だより 1月号

〒624-0955 舞鶴市字丸田74番地

TEL: 0773-82-0013

令和5年1月10日発行

新年 あけましておめでとございませう！

この2023年、令和5年が皆様にとりまして輝かしい一年となりますことを、心よりご祈念申し上げます。朝夕の冷え込みが厳しい日が今後も続きますが、特に見守り隊の皆様には大変お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

まだまだ新型コロナの感染対策を行っての活動が続きますが、一番短い学期となりますがじっくりと丁寧な指導を心がけていきます。



「音楽でリラックス」

さて、うさぎ年となり飛躍が期待されていますが、音楽の先人の名言を紹介します。どこかで聞いたことがある曲がたくさんあります。もちろん小学校でも学習する人です。

1 ヨハン・セバスティアン・バッハ (1685-1750) バロック 「音楽の父」 ドイツ

○風は見えなくても風車は回っている。音楽は見えなくても心に響いてくる、囁きかける。

○どんな楽器でも演奏するのは簡単である。正しい音を正しい時に触れば楽器が勝手に演奏してくれる。

○音楽の唯一の目的は、神の栄光のためと人々の心の癒しである。

2 ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756-1791) 古典派 オーストリア

○多くのことをなす近道は、一度にひとつのことだけをする事だ。

○望みを持つ。でも望みは多すぎたはげない。

○音楽は決して耳ざわりであってはならない。むしろ耳を満足させ楽しみを与える、つまり常に「音楽」でなくてはならない。

3 ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770-1827) 古典派 「楽聖」ドイツ

○神がもし、世界でもっとも不幸な人生を私に用意していたとしても、私は運命に立ち向かう。

○苦悩を突き抜ければ、歓喜に至る。

○もしも美しいまつげの下に、涙がふくらみたまるならば、それがあふれ出ないように、強い勇気をもってこらえよ。

4 フレデリック・フランソワ・ショパン (1810-1849) 前期ロマン派 ポーランド

○健康で強い体があれば毎日喜んで働く。

○自分の耳が許す音だけが音楽である。

○毎朝、非常にゆっくりのテンポで練習し、指をしなやかにしなさい。

こうした名言を意識しながら曲を聴くとまた違った雰囲気を楽しめるかもしれませんね。音楽は世界の共通語ともよく言われています。モーツァルトの音楽は 波でメンタルを含めた心身のケアに有効で自律神経を整えリラックスできるそうです。

3学期の登校予定日数は52日(6年生は51日)で、一番短い学期です。今年度のまとめをするとともに、6年生にとっては中学校に進学する準備期間、1~5年生にとってはそれぞれ新しい学年に進級する準備期間でもあります。時節柄、健康には一層留意し、充実した学校生活を送ることができるよう、児童一人一人の努力に期待をします。

校長 中江 浩二 教職員 一同